

## 今月の PICK UP



『こつこつ、オムレツ』太田 忠司／著 ポプラ社 913.6オ

製菓学校在学中にスイーツコンテストで賞を取り、卒業後は格式ある老舗ホテルへ就職した若手パティシエ・田城陶子。動画サイトでも注目を集めていた陶子でしたが、取材を受けている最中に急にクリームが絞れなくなり、休職を余儀なくされます。子どもの頃からの夢が潰れてしまう恐怖に怯える中、ライターの小瀬に誘われて「思い出のオムレツ」を尋ねる取材に同行します。

取材を通して様々な人と出会った陶子は、少しずつ前を向く気力を取り戻していきます。食欲を刺激される美味しそうなオムレツの描写と、ままたまらない人生に翻弄されながらも懸命に生きていく人の姿に元気をもらえる小説です。姉妹編に『和菓子迷宮をぐるぐると』があります。



『大正昭和レトロ建築旧夢譚』高殿 円／著 エクスナレッジ 523.19

栄華の影残る遊郭、古民家書店、モダンな銭湯跡…関西の各地に残る多彩なレトロ建築を、実地取材と図面でたどる1冊。建物の背後にある歴史や物語を綴るのは、小説家・高殿円さん。豪華な内装や細かい意匠は建築イラストレーター・コジマユイさんのイラストで緻密に再現。夢とロマンと「ひみつ」を抱え持つ近代建築の世界を、どうぞお楽しみください。



『はかりきれない世界の単位』米澤 敬／著 日下 明／画 創元社 609ヨ



「片食(かたげ)」ということばをご存じでしょうか。「片食」は1日にとる食事の回数を表す際の単位です。現在ではほとんど使われないのではないのでしょうか。

単位というものは、もともと生活の中から生み出されたものでした。時代とともに使われなくなったものや、反対に、新しく考え出されたものなど、世界中の様々な単位がこの本では紹介されています。それぞれの単位の使われた毎日を想像しながら、この本を楽しんでください。



『アリ先生、おしゃべりなアリの世界をのぞく』村上 貴弘／著 扶桑社 486.7ム

本書は、幼い頃から昆虫が大好きな著者による世界に生息するアリに関する調査研究の様子を綴ったエッセイです。その日々の中での苦労話や、くすっと笑えるエピソード、また多種多様なアリのユニークな生態なども、大変興味深く紹介されています。

長年の研究の末、ついに音によるアリ独自のコミュニケーション法を見つけ出した著者。さあ、おしゃべりなアリの世界をのぞいてみませんか。



『ロッキー山脈の向こうへ』桐江 キミコ／著 高文研 334.4キ

かつての明治時代、新天地を求めて北米大陸に渡った若者たちの中に、彦根出身者が多くいたことをご存じでしょうか？ 彼らは慣れ親しんだ地元を離れ、不安や迷いを抱えながら出会いや経験を重ね、自分の進むべき道を見つけていきます。戦争による人種差別と貧困に抗いながらも、家族と共にカナダでたくましく生き抜き、新たな未来を切り拓く日系移民家族の物語にあなたも勇気づけられるはずです。

